

2004年6月25日

## 抗精神病剤「セロクエル<sup>®</sup>細粒 50%」新発売のお知らせ

当社は、抗精神病剤「セロクエル<sup>®</sup>細粒 50%」(一般名：フマル酸クエチアピン)を、本日の薬価収載を受け、本年6月28日より新発売いたしますので、お知らせします。

セロクエル<sup>®</sup>の適応疾患である統合失調症は、躁うつ病と並ぶ内因性精神病の代表的な慢性疾患であり、その発症頻度は一般人口の0.8%とされています。現在、患者数は約70万人(外来患者約50万人、入院患者約20万人)と推定されており、精神科医療において極めて重要な疾患であります。

「セロクエル<sup>®</sup>」は、ゼネカ社(現アストラゼネカ社)によって開発された非定型抗精神病薬で、現在世界80ヶ国以上で発売されています。日本では、当社が1998年12月にゼネカ社より独占的販売権を取得し、「セロクエル<sup>®</sup>錠」として2001年2月に販売を開始しました。本剤は、抗精神病薬の主たる副作用である錐体外路症状の発現率が低く、患者さんの症状に応じて投与量の増量を図ることが可能であることから、発売以来、統合失調症患者さんのQOL(Quality of Life)の改善と社会復帰の促進に貢献してまいりました。

精神神経疾患領域において国内トップシェアを誇る当社は、日本において世界で初めて「セロクエル<sup>®</sup>」を細粒剤として開発することに成功し、2004年2月27日に「セロクエル<sup>®</sup>細粒 50%」の承認を取得しました。精神神経疾患領域では、個々の患者さんごとに病態像、治療時期、薬剤反応性などが異なるために、抗精神病薬の最適投与量を患者さんごとに微量調節する必要があります。このため医療現場における細粒剤のニーズは高く、医療スタッフの方々の利便性の改善に貢献出来るものと期待しております。

また、「セロクエル<sup>®</sup>錠」を高用量服用される患者さんでは、錠剤数が多いために服用困難なケースも見受けられました。このたび新発売する「セロクエル<sup>®</sup>細粒 50%」は、甘味のある白色の細粒で飲み易く、また、多剤併用の場合でも一包化が可能となりますので、患者さんのコンプライアンスの向上への貢献も期待されております。

「セロクエル<sup>®</sup>細粒 50%」の概要は下記の通りです。

[記]

[商品名] セロクエル<sup>®</sup>細粒 50%

[一般名] フマル酸クエチアピン

[効能・効果] 統合失調症

[用法・用量] 通常、成人にはクエチアピンとして 1 回 25mg、1 日 2 又は 3 回より投与を開始し、患者の状態に応じて徐々に増量する。通常、1 日投与量は 150～600mg とし、2 又は 3 回に分けて経口投与する。

なお、投与量は年齢・症状により適宜増減する。但し、1 日量として 750mg を超えないこと。

[薬価] 1g 881.30 円

[包装] ボトル 100g , 500g

[薬価収載日] 2004 年 6 月 25 日

[発売日] 2004 年 6 月 28 日

以 上